

さよむらさき

九州で栽培しやすい紫黒米
(旧系統名: 西海糯225号)

しこくまい

◆暖地に適した栽培しやすい紫黒米

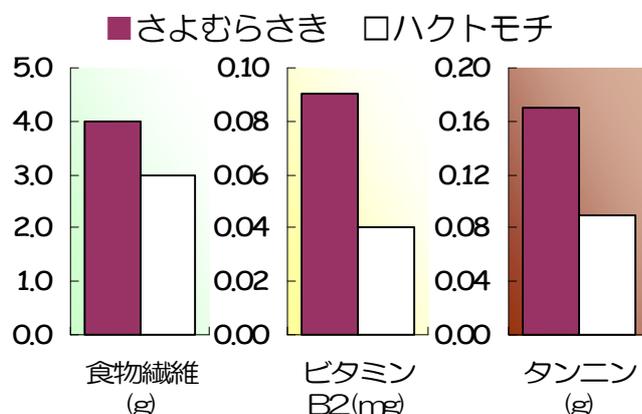
さよむらさきの栽培特性 (福岡県筑後市)

品種名	出穂 (月日)	稈長 (cm)	倒伏 (0-5)	精玄米重 (kg/a)
さよむらさき	8.25	77	0.0	33.0
朝紫	8.12	77	0.0	34.7 (100)
ハクトモチ	8.25	84	1.2	50.4

注) 6月下旬移植。2003~2009年の平均。「朝紫」は東北向けの紫黒米品種、「ハクトモチ」は一般の白もち品種。

- ◆8月下旬に出穂する、九州などの暖地に適したもち品種です。
- ◆倒れにくく、脱粒性(モミが穂から自然にこぼれ落ちる性質)もないので、普通のイネと同じように栽培できます。
- ◆収量は通常のもち品種の70%程度です。

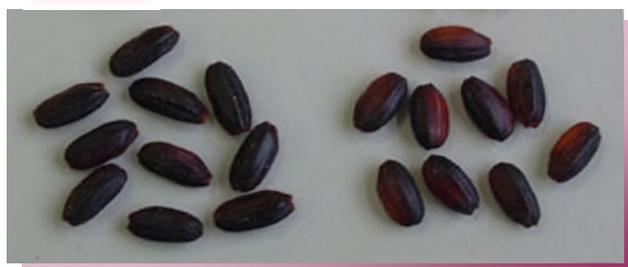
◆栄養・機能性成分が豊富



◆色が濃く良質な紫黒米

アントシアニン(紫の色素)の合成に適した涼しい秋に実るため、玄米の色が濃く良質です。

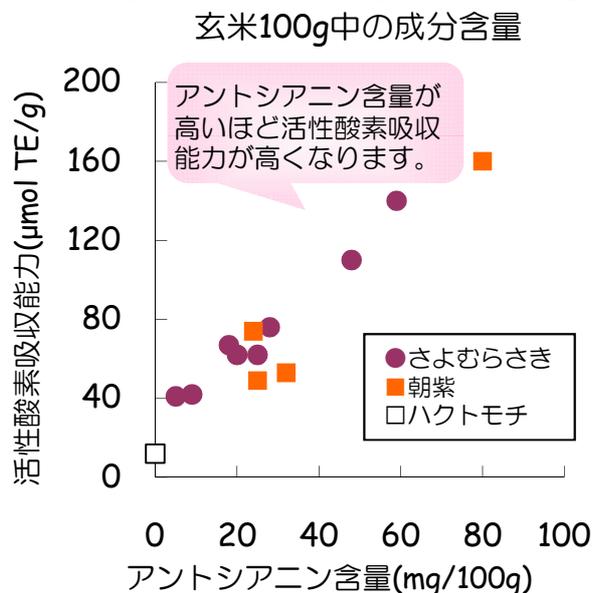
玄米



さよむらさき

朝紫
(東北向けの紫黒米)

草姿



- ◆玄米の粒厚が薄いため、選別網のふるい目は1.7mm程度に調整してください。
- ◆一般品種に混入しないよう細心の注意を払って下さい。一般品種の採種圃場の近隣では絶対に栽培しないでください。



九州沖縄農業研究センター
低コスト稲育種研究九州サブチーム
〒833-0041福岡県筑後市和泉496
Tel:0942-52-0647



稲育種 九州

検索

(2010.07作成)